

成人の日

おめでとうございます



いま、私たちのまわりには様々な課題があります。教育や就職の問題、結婚や子育て、老後の生活、将来あるべき社会についての課題などもあるでしょう。

こうした課題を解決していくためには、一人ひとりが自分自身の考えを持って政治に関わっていくことが大切です。

「こんな政策が必要！」、「こんな社会にしていきたい！」といった私たちの声を政治に届けるために、選挙や政治についてあらためて考えてみませんか。



明るい選挙啓発ポスターコンクール
特選作品 住道北小学校5年生

ご存じですか？「不在者投票」制度

旅行や出張などで選挙期間中に市外に滞在する場合には、投票用紙を請求することで、滞在先の市町村で投票することができます。

その他の制度についても、選挙管理委員会HPからご確認ください。

<https://www.city.daito.lg.jp/soshiki/49/>

大東市選挙管理委員会



あなたが思うより、あなたの一票はずっと大きい

緑風冠高等学校の生徒さんたちが、市民レポーターと共に世代を超えて選挙について考えました。

令和7年「だいとう」5月号の特集をご覧ください。



「選挙」のこと 超まじめに考えてみた。

#GO VOTE DAITO

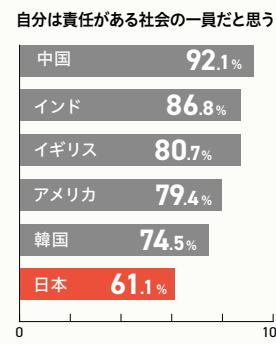
現在、全国の教育機関では「主権者教育※」が取り入れられています。

※主権者教育…暮らしや社会の課題について、当事者として「知り、考え、意見を持ち、論じ、決める」力を養う教育のこと

日本財団による「18歳意識調査」調べの、「国や社会に対する意識(6カ国調査)」において、「自身と社会の関わりについて」の13問に対する日本の若者の回答は、6か国中、すべて最下位でした。また、平成28年度から選挙権が18歳に引き下げられましたが、若者の投票率の低さが社会問題となっています。

しかし、これらは若者だけの問題でしょうか。高校生とともに年代を超えて、「選挙」について考えていきたいと思います。

日本財団公式ウェブサイト▶



日本財団「18歳意識調査」調べ 第62回テーマ「国や社会に対する意識(6カ国調査)」より

授業をして
くれたのは…



府立緑風冠高等学校
社会科
榎原先生

取材をしてくれたのは…



市民レポーター
富岡さん

学校で詳しく「選挙」について教わっていない世代の代表として、緑風冠高校の授業を取材しました。今の高校生がどんな授業を受けているのか、とても興味があります！

Try with us

当てはまる答えを選んで、A から C の解説をチェックしてみよう

「選挙」では必ず投票に行っている?

- 毎回必ず行っている
- 行く時の方が多い
- 行かない時の方が多い
- 選挙権はあるが行ったことがない
- 選挙権がない

自分が投票することに意味があると思う?

- とてもそう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない

投票する人を何を基準に選んでいる?

- 自分の考えに近いかどうか
- 政策などに共感できるかどうか
- ポスターなどから感じるイメージ
- なんとなく
- 選び方が分からない

授業を受ける前の「政治」に対する印象は…



タナカさん

自分には関係ないと
思っていました…

政治に関係ない人は
一人もいないよ！



物価高で生活に大きく影響する「消費税」や、進学を考える時に判断要素となる「奨学金」など、多くの点で高校生の生活も政治とつながっています。政治は暮らしに直結しているのに、自分に関係がないと思って投票しないでいると、どのような社会になるでしょうか。興味深いデータがありますので紹介します。

／若者と高齢者で投票数に差



全人口に対する比率が低い若年層が投票に行かなかったら、高齢者層との投票数の差がさらに広がります。若い人たちの声が政治に届きにくい状況になってしまふかも…。

令和3年の衆議院議員選挙における年代別投票者数では60歳代の投票率が71.43%で1,070万票、20歳代が36.50%で440万票となり、その差は2.4倍になりました。



総務省・文部科学省「私たちが拓く日本の未来」より

若者には関係ないと
思って投票しないで
いると、若者のため
の政策が軽視される
かもしれません…



タナカさん

Practice 街頭演説や議会の傍聴に参加

政治に少し興味を持ち始めた生徒たちは、授業の一環として、街頭演説をしている候補者へのインタビューや、市議会の傍聴に参加しました。



街頭演説を聞きにいき、候補者の熱意を感じた。こういうところが市民からの信頼につながるのかなと思った。

タマリさん

議会で中学校給食の話をしていた。小学校のときに答えたアンケートがこうして反映されているんだと知った。

ハットリさん

勝敗を決める
だけのものでは
ありません

B 投票する意味って…



ミウラさん

投票した候補者が落選しても
投票する意味ある？

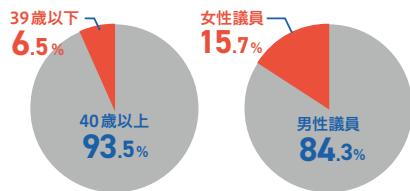
「選挙」は民意を伝える
絶好のチャンス！



／投票することで民意を伝えよう

私たちが考えた 投票で伝わる民意

- ・どの年代の投票率が高いか？低いか？
- ・どの政策がどのくらい支持されたか？
- ・これまでの政策の評価や政策実現度



「NHK 衆議院選挙2024特設サイト」より

昨年の選挙で選ばれた衆議院議員は465人。その内39歳以下の議員は30人で全体の6.5%。女性議員は73人で全体の15.7%。

今の政治家は高齢の男性が多いので、色んな人の意見が政治に反映されるように、若い候補者や女性に投票するのもありだと思った。それも一つの意思表明だと思う。

ヤブさん



投票していいの?
社会のことを
よく知らない私が



新たな疑問…

誰に投票したらいいか
分からぬ…

タマリさん

投票基準の一例を紹介します。

気になる争点と
各政党などの政策を見てみよう!



STEP 1 気になる争点を絞る



自分が興味のあること
や、身近なところから考
えて、重視したいものを
選んでみよう！



STEP 2 各政党や候補者の政策を知り、評価する



さまざまな媒体を使っ
て、自分の考えに近い
政党や候補者を、より
詳しく調べてみよう！



選挙公報



政見放送



インターネット



新聞報道



党首討論

Practice 授業で模擬投票を実施

昨年の衆議院議員選挙を題材に、授業の中で政党を比較し、
模擬投票を行いました。



もっと知りたい…



他の人の意見も
聞いてみたいな…

ハマダさん

選挙や政治について
身近な人と話すのは大賛成！



市民レポーター
富岡さん

政治や選挙について、家族や友達
と話し合ったり、意見を聞いた
りしたことはありますか？



オザキさん

私は榎原先生の授業をきっかけに、親と選挙
について話しました。はじめは恥ずかし
かったけれど、親の意見が聞けたり、話すこと
で自分の意見も整理できたりしてよかったです。

Practice 出口アンケートに参加

投票当日に出口アンケートを行い、実際に投票し
た人の意見を聞きました。思っていた以上にこれか
らの社会や若者の未来を考え投票している大人
が多いことに感動した生徒もたくさんいました。



最終的には、
自分でよく考えて、
自分の判断で
投票しましょう！



1年間の授業を通して…

選挙や政治のこと、今はどう思ってる？

街頭演説などのフィールドワークもあって、関心を持てました。友達には、「選挙に行っても何も変わらない」という人がいたけど、投票しないと何も変わらないと思うから、私は投票したいです。

ハットリさん



親と選挙権を16歳に引き下げるのはどうかという話をしたときに、もし引き下げるなら、教育とセットで考えることが大事だと思いました。選挙について学べる環境が必要だと感じたからです。

ハマダさん



ネットなどで、社会に納得いっていない人の意見を見ることがあります。僕も社会に納得いっていないことはあるけれど、だからこそ選挙に行こうと思います。

ヤブさん



1年間の授業の最後にとったアンケートの結果

今後は選挙に参加したいですか？

90.4% が YES と回答！

大人も、超まじめに考えてみた。

#GO VOTE DAITO

「対話を通じて学ぶ」 生徒たちの成長を実感

生徒たちは授業をとおして、自分の意見を持つ力と、他者の意見をしっかり聞ける力を身につけました。対話することで、より深く学んだと思います。そして、それこそが「主権者教育」の核だと思うのです。私は「主権者教育」を受けることなく社会に送り出された世代ですが、次の世代に胸を張ってバトンを渡せるように、今できることを考えていきたいと思います。

緑風冠高等学校 森本 校長先生



取材を通じて、 投票の大切さを再確認

今、学校で主権者教育を受けられる高校生の皆さんには、恵まれていると思いました。しかし、若者を取り巻く環境は、さまざまな課題を抱え、決して恵まれているとは言えません。今まででは雨の日の投票が億劫に感じたこともありますが、子どもや孫の世代のためにも、より良い社会になるように、まずは私も投票に行こうと思います。

市民レポーター 富岡 さん

